

支庁名	市町村名	事業実施主体名	政策	取組分類	作物等区分① (対象作物・畜産等名)①	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績 6年後 (平成24年)	事業内容 (計画)	事業内容 (実績)	事業費 (円)	負担区分(円) 交付金	完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
								計画時 (平成18年)	5年後 (平成23年)	6年後 (平成24年)	目標値 (平成24年)	達成率										
									達成率													
空知	滝川市	ホクレン農業協同組合連合会	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	家畜改良増殖(豚)	生産性向上	【家畜改良増殖】SPF肉豚飼養頭数を79.1%増加	4,020頭/年 (平成17年)	4,760頭/年	23.3%	4,900頭/年 (平成24年)	7,200頭/年 (平成24年)	27.7%	SPF母豚の飼養頭数が21.8%増加した。	家畜改良増殖関連施設 (家畜改良増殖関連施設) 繁殖舎 1棟1,589.30㎡ 分娩舎 1棟1,239.51㎡ 子豚舎 1棟1,426.86㎡ 育成舎 2棟、肥育舎 2棟 隔離舎 1棟、管理舎 1棟 総合ビット 1基、作業車輛庫 1棟 重機用車庫 2棟、消毒倉庫 1棟 出荷台 2基、洗車場 一式 焼却炉 1台、総合機械器具 一式	646,327,500	293,560,000	H20.3.27	計画策定時の配合飼料価格は、肥育用で約4万円/トンであったものが、配合飼料原料の価格高騰により現在では約5万円/トンであり、約1万円/トンの値上げとなっている。さらに豚枝肉価格は上平均価格が平成18年度452円/kgであったものが、平成24年度は417円/kgと35円/kgの差となっている。それが生産者の経営や将来性に大きな影響を及ぼしており、当初計画していた規模拡大や新設計画案件が棚上げ状態となっている。これにより、本会種豚場からの供給種豚供給頭数は、供給能力約2,400頭の体制は整備したものの、平成24年度実績で達成率59.4%となっている。今後は、TPPへの参加等の問題もあり養豚経営はさらに厳しさを増すものと考えられるが、養豚経営の安定には、生産性の安定(生産技術成績)とさらなる向上が必須と考える。そのため、哺育事故率の低減技術やPCV2ワクチンプログラムの検討について畜産試験場との共同試験を実施する。また、差別化豚肉への取組みについても随時検討する。	近年の配合飼料価格の高騰や豚枝肉価格の低迷等の影響により、SPF肉豚生産頭数の拡大が伸び悩んでいる状況にあるが、平成24年度は1農場の規模拡大に伴いSPF種豚供給頭数が増加しているほか、SPF肉豚出荷頭数及び母豚飼養頭数も増加傾向にあることから、引き続き目標達成に向けた取組について指導していく。		
上川	士別市	財団法人北海道農業開発公社	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畜産生産基盤育成強化(乳用牛)	生産性向上	【畜産生産基盤育成強化】(離農跡地等の経営継承)家畜飼養頭数が地域の平均値の7割に対し225%	28頭	60頭	91.4%	60頭	63頭 (平成24年)	91.4%	家畜飼養頭数が成果目標頭数の91.4%に達した。	離農跡地・後継者不在経営施設 乳牛導入 20頭 畜舎補修 1358.1㎡ パイプライン一式 バンクリーナー一式 中古機械 3台	49,398,980	23,645,000	H20.3.31	概ね目標としていた乳牛頭数を維持しており、順調に計画が達成された。今後も地元関係機関と情報を共有し、順調な酪農経営が維持されるよう協力していきたい。	概ね目標としている乳牛頭数を維持しており、目標年度における計画の達成率は91.4%であった。今後も事業実施主体や地元関係機関と連携して情報を共有し、更なる経営の安定に協力していきたい。		
網走	北見市	財団法人北海道農業開発公社	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畜産生産基盤育成強化(乳用牛)	生産性向上	【畜産生産基盤育成強化】(離農跡地等の経営継承)家畜飼養頭数が地域の平均値の7割に対し171%	28頭	48頭	100.0%	48頭	48頭 (平成24年)	100.0%	飼養頭数は毎年変動しているが、計画的な繁殖により、目標値を維持している。	離農跡地・後継者不在経営施設 乳牛導入 40頭 畜舎改修 432.10㎡ バンクリーナー一式 中古機械 2台	29,918,185	12,823,000	H20.3.31	農用地面積・乳用飼養頭数については、目標を達成し、経営の向上に努めた。	成果目標の達成については、事業実施後1年目(H19)で目標値(H24)である48頭の飼育頭数をクリアし、その後も計画的な繁殖により、目標値を維持している。今後も関係機関(北見市、農協、普及センターなど)と連携し、経営の向上に努める。		
網走	佐呂間町	財団法人北海道農業開発公社	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畜産生産基盤育成強化(乳用牛)	生産性向上	【畜産生産基盤育成強化】(離農跡地等の経営継承)農用地面積が地域平均値の7割に対し171%	21.0ha	35.5ha	96.7%	42.2ha	36.0ha (平成24年)	141.3%	農用地面積が101.0%増加した。	離農跡地・後継者不在経営施設 乳牛導入 40頭 畜舎改修 689.08㎡ パイプライン一式 バンクリーナー一式 中古機械 5台	47,250,331	19,638,000	H20.3.31	農用地面積・乳用飼養頭数については、目標を達成し、その後は、支出を徐々に低減しながら、経営の向上に努めている。	成果目標の達成については、農地の利用集積を進め、H24に目標値を達成した。		
網走	滝上町	財団法人北海道農業開発公社	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畜産生産基盤育成強化(乳用牛)	生産性向上	【畜産生産基盤育成強化】(離農跡地等の経営継承)農用地面積が地域平均値の7割に対し205%	34.7ha	70.3ha	97.3%	72.1ha	71.3ha	102.2%	農用地面積が100.7%増加した。	離農跡地・後継者不在経営施設 乳牛導入 22頭 パイプライン一式 バンクリーナー一式 中古機械 5台	20,318,040	8,963,000	H20.3.31	農用地面積・乳用飼養頭数については、目標を達成し、支出を抑えた効率的な経営を実施できている。	成果目標の達成については、農地の利用集積を進め、H24に目標値を達成した。		
十勝	大樹町	財団法人北海道農業開発公社	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畜産生産基盤育成強化(乳用牛)	生産性向上	【畜産生産基盤育成強化】(離農跡地等の経営継承)家畜飼養頭数が地域の平均値の7割に対し185.7%	28頭	55頭	112.5%	52頭	52頭	100.0%	家畜飼養頭数が85.7%増頭した。	離農跡地・後継者不在経営施設 乳牛導入 40頭 畜舎改修 191.2㎡ バンクリーナー一式 パイプラインカー一式 飼料給餌車 1台	30,892,658	13,104,000	20.2.12	成果目標についてクリアしており、経営も安定している状況である。今後も、受益農家の更なる経営安定に向け、地元関係機関と連携を図っていきたい。	成果目標達成され、経営収支についても良好に推移していることから、事業の目標は達成されたと判断される。		
釧路	浜中町	財団法人北海道農業開発公社	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畜産生産基盤育成強化(乳用牛)	生産性向上	【畜産生産基盤育成強化】(離農跡地等の経営継承)農用地面積が地域平均値の7割に対し160%	31.5ha	50.4ha	100.0%	63.0ha	50.4ha	166.7%	農用地面積が100.0%増加した。	離農跡地・後継者不在経営施設 乳牛導入 40頭 畜舎補修 194.40㎡ アプレストバーラー式 ハルクーラー 3,500L 除糞機 1台 ミキサー 1台 中古機械 4台	57,376,032	25,547,000	19.12.26	成果目標である「農用地面積が事業実施地区を含む地域の平均値の70%以上」では、6年後の農用地面積(63.0ha)が目標値(50.4ha)に対して125%に到達していることから、成果目標は達成したと考えられる。	成果目標は達成しており、計画は達成したと考えられる。今後も疾病対策など衛生管理の徹底と、飼養管理の改善による乳質の向上等により、経営の安定を進めていく。		

